

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績 I ～ IV）

(I) 労働時間					
前年度（R2年度）					
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	29,411	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	7,153	人
			利用者の1日の平均労働時間数	4	時間

(II) 生産活動					
会計期間（R1.11月～R2.9月）					
前々年度（●年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	-	円	利用者に支払った資金総額	-	円
収支					円
前年度（R2年度）					
生産活動収入から経費を除いた額	0	円	利用者に支払った資金総額	23,285,148	円
収支				▲ 23,285,148	円

(III) 多様な働き方					
前年度（令和2年度）における実績（全体表「(III) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）					
<b>① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度</b>		<b>② 利用者を職員として登用する制度</b>		<b>③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律</b>	
◎ 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数	● 名	◎ 職員として登用した人数	● 名	◎ 在宅勤務を行った人数	● 名
※取得を進めた免許等：○○○		◎ うち1名は雇用継続期間が6月に達している	<input type="checkbox"/>	※実施した期間：●月●日～●月●日	
制度の活用内容：○○○		◎ うち1名は前年度末日まで雇用継続している	<input type="checkbox"/>	就業時間（在宅勤務）：●時●分～●時●分	
		※登用した日：●年●月●日		職務内容：○○○	
		勤務形態：○○○			
		就業時間：●時●分～●時●分			
		職務内容：○○○			
<b>④ フレックスタイム制に係る労働条件</b>		<b>⑤ 短時間勤務に係る労働条件</b>		<b>⑥ 時差出勤制度に係る労働条件</b>	
◎ フレックスタイム制を活用した人数	● 名	◎ 短時間勤務に従事した人数	● 名	◎ 時差出勤制度を活用した人数	1 名
※実施した期間：●月●日～●月●日		※実施した期間：●月●日～●月●日		※実施した期間：3月1日～3月31日	
就業時間（コアタイム）：●時●分～●時●分		就業時間（短時間）：●時●分～●時●分		就業時間（早出の場合）：9時45分～15時00分	
職務内容：○○○		職務内容：○○○		就業時間（遅出の場合）：10時45分～16時00分	
				職務内容：パソコン業務、軽作業	
<b>⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度</b>		<b>⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項</b>			
◎ 時間単位取得を活用した人数	1 名	◎ 傷病休暇等を取得した人数	2 名		
◎ 計画的付与制度を活用した人数	0 名	※取得した内容：疾病の療養のため			
※取得した制度：有給休暇の時間単位取得 <input checked="" type="checkbox"/>		取得した期間：6月1日～7月10日			
計画的付与制度 <input type="checkbox"/>		就業時間：9時45分～15時00分			
取得した期間：3月1日～3月31日		職務内容：パソコン業務、軽作業			
取得日数：2日					
取得時間：4時間					

(※) 当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上					
前年度（令和2年度）における実績（全体表「(IV) 支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）					
<b>① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会</b>		<b>② 研修、学会等又は学会誌等において発表</b>		<b>③ 視察・実習の実施又は受け入れ</b>	
◎ 研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>	◎ 研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	● 回	◎ 先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
◎ 研修実施回数 外部 9回/内部 1回		※研修、学会等名	○○○	◎ 他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
対象職員数	7 人	実施日	● 月 ● 日	※先進的事業者名	株式会社バオバブ
うち研修受講者数	7 人	※学会誌等名	○○○	実施日	R2年7月21日
※研修名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）	掲載日	● 月 ● 日	参加者数	34人
研修講師	弘前医療福祉大学短期大学部 介護福祉学科長 教授 戸来睦雄氏	発表テーマ	○○○	※他の事業所名	株式会社はちのへ東興朝日ソリューション
実施日・受講者数	R2年7月8,9日 1人			実習実施期間	R2年11月2日～R2年12月26日
				参加者数	1人
<b>④ 販路拡大の商談会等への参加</b>		<b>⑤ 職員の人事評価制度</b>		<b>⑥ ピアサポーターの配置</b>	
◎ 販路拡大の商談会等への参加回数	2 回	◎ 職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>	◎ ピアサポーターを配置している	<input type="checkbox"/>
※商談会等名	定例会	◎ 当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>	◎ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input type="checkbox"/>
主催者名	八戸北ロータリークラブ	人事評価制度の制定日	令和2年4月1日	※配置期間	●月●日～●月●日
日時	R3年2月9日（火）13:00～13:30	人事評価制度の対象職員数	7名	就業時間	
内容	・就労継続支援A型事業所としての役割と支援 ・障がい者の可能性と今後のスキルアップについて	うち昇給・昇格を行った者	0名	職務内容	○○○
		当該人事評価制度の周知方法			
		就業規則と人事評価面談時に告知			
<b>⑦ 第三者評価</b>		<b>⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等</b>			
◎ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input type="checkbox"/>	◎ 国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証を受けている	<input type="checkbox"/>		
※評価を受けた日	● 月 ● 日	※認証を受けた日	● 月 ● 日		
第三者評価機関	○○○	規格等の内容	○○○		

(※) 実績のうち1事例を記載